

9月定例会は9月7日から18日まで開かれました。令和元年度歳入歳出決算の認定、令和2年度一般会計補正予算（案）などが主な内容でした。その概要と共産党議員の対応をお知らせします。

令和元年度 一般会計 歳入歳出 決算の認定 について

【内容】 令和元年度決算は7,545万円余の黒字となった。元年度では、社会資本総合整備交付金事業（あづみ病院前の町道建設・旧公民館撤去）や農地耕作条件改善事業（鵜山ブドウ園整備、会染西部圃場整備）などの大型事業を実施した。また、穂高広域新ゴミ処理施設への負担金、あづみ病院改築補助、認定こども園エアコン設置、専門学校改修（旧教育会館）などに取り組んだ。多くの事業に取り組んだことで経常収支比率が91.5%（対前年比6.5%増）となる厳しい財政運営となった。財政調整基金は令和元年度末で4億4,246万円余であったが、令和2年度末にはほとんどなくなると言われており、今後も厳しい財政運営となる。

【認定結果】 共産党議員は不認定としたが、賛成多数で認定された。

共産党議員が不認定した理由

旧教育会館は社会資本総合整備交付金事業で取り壊す計画であった（費用の約40%は国負担）。町は専門学校の要望で介護福祉学科に使う目的で、改修費237万円余を支出



写真 旧教育会館の現状

した。本年3月31日、専門学校から介護福祉学科の使用を見直すとの通知があり、使用しないことになった。町は当面、旧教育会館を書庫などに利用する考えであるが、いつれ取り壊す時期が来る。その際の取り壊し費用は全額町負担となる。町は専門学校に何も求めないとの説明であり理解しがたい。町が専門学校に毅然とした姿勢をとることを求め、不認定とした。

令和2年度

一般会計補正 予算（第6号） について

【内容】 1億1,779万円を追加し、予算総額を65億19万円とする。

- | | |
|--------------------------------|---|
| ●総合体育館駐車場整備
3,500万円（68区画整備） | ●高齢者インフルエンザ
予防接種委託料 835万円 |
| ●住宅リフォーム 500万円 | ●新型コロナ対策 500万円（店舗
などの感染防止機材購入への
2/3補助、20万円まで） |
| ●移住定住補助金 2,864万円 | |

【議決結果】 全議員の賛成で可決。

議案「池田町家庭的保育事業の設備及び運営に関する 基準を定める条例の一部改正」について

【内容】 町に家庭的保育事業所はないが、国の基準改正にともない、町の基準も改正する。基準改正により食事の外部搬入の範囲を拡大するなど、保育環境の質低下につながる。

【議決結果】 共産党議員は反対したが、賛成多数で可決された。



洪水時「逃げ遅れゼロ」の避難対策の確立を！

薄井 昨年、県が公表した最大想定規模降雨時の高瀬川浸水想定図をみると、高瀬川流域平坦部ほとんどが浸水状態となる。洪水時「逃げ遅れゼロ」にするため、高瀬川流域タイムライン、町・自主防災組織・家庭のタイムライン作成の取り組みを。

総務課長 千曲川流域タイムライン（※）が国から公表されたので、高瀬川流域タイムラインは県が中心となり来年度作る。これを受け、町タイムラインを作り、自主防災組織・マイタイムライン（洪水時、各家庭の避難先を決めていただく防災行動計画、下記は池田町マイタイムラインの一部を抜粋）の作成にも取り組む。

※ 洪水が想定される場合、関係機関（国・自治体・電力会社など）がとるべき行動を時系列で整理した防災行動計画。情報の共有化により「逃げ遅れゼロ」に役立つ。

風水害から身を守る！「マイ・タイムライン」

知って↓ 備える	①住んでいる地区の災害リスクを知る	土砂災害警戒区域か？ 高瀬川洪水警戒区域か？	避難所へ行くことだけが、避難ではありません。 命を守る行動を避難と言います。 避難先の例 ①親戚・友人宅 ②旅館・ホテル ③車で安全な場所へ避難 ④開設される町の指定避難所 ⑤その他・近くの3階以上の丈夫な建物等
	②避難場所・経路を調べる	避難場所： 移動手段： 移動時間：	
	③警報等の内容を調べてどんな行動をとるか知る	避難開始のタイミング： レベル3の避難準備・高齢者等避難開始で避難する レベル4の避難勧告・避難指示（緊急）で避難する テレビ・ラジオ 長野県河川砂防情報ステーション 気象庁降水ナウキャスト ポテカネット（4地点の観測計〔役場・中島・滝沢・陸郷〕） ハザードマップ再確認 池田町ホームページから「警戒レベルを用いた避難勧告等の判断・伝達基準」の確認	
	④災害発生前後の情報収集方法を調べる		

避難行動要支援者への避難支援対策を！

薄井 洪水時、避難行動に支援を要する人（以後、要支援者）は何人いるか。また、そのうち避難に協力する人を決めてある「個別支援計画書」が作成されているのは何人か。

健康福祉課長 要支援者は約550人で、「個別支援計画書」は2人で作成されている。

薄井 町の要支援者名簿に支援協力者の氏名を記載するなどして支援対策の強化を。

健康福祉課長 近く関係機関で対策を検討する。

一人暮らしの方などへの非常時緊急連絡支援体制の検討を！

薄井 一人暮らしの方などの非常時緊急連絡対策として、事前に緊急連絡先を社協に登録いただき、その旨を玄関先にシールで表示している例も聞く。町も支援対策を検討できないか。

健康福祉課長 町は北アルプス広域連合と連携し、カプセル方式（※）での非常時緊急連絡対策を実施に向け検討している。

※ 連絡先・医療情報などをカプセルに入れ室内に置く方式



介護施設・保育園・学校の職員に PCR検査を！

服部 介護施設・保育園・学校などで、コロナウイルス感染症の陽性者が出ると社会的影響が大きい。東京都世田谷区など全国の自治体で独自に PCR 検査を実施している例もある。北アルプス広域連合と連携して、介護施設・保育園・学校などの職員を対象に PCR 検査を実施できないか。また、広域連合で全自動 PCR 検査機器を導入して、大町病院で多数の検査ができるよう提案できないか。

町長 町独自での検査は課題が多く困難である。大町総合病院では検査ができるように準備を進めている。提案は広域連合に話をしてみたい。

会染保育園の建て替えを 早急に！

服部 会染保育園の老朽化が進み、雨漏れ、エアコンがない教室など改善を求める意見が住民懇談会で出された（写真）。町の考えは。

企画政策課長 会染保育園は築 40 年で、劣化状況評価「C」で広範囲に劣化が進んでいる。現在「幼児教育あり方研究部会（以降、研究部会）」で会染保育園の方向性を検討している。



服部 研究部会の経過報告では、「会染保育園新築は非現実的であり、除外することを提案し同意された」とあった。また、「会染保育園の未満児は池田保育園へ、3 歳から 5 歳児は会染小学校や池田小学校の空教室を利用する等」の案が出されている。今後、会染保育園はなくす方向で進めるのか。また、年齢で場所を変える案では落ち着いた保育が保障されないと思うが。

教育長 各地の先進事例を学び、新築以外の選択肢を研究している。会染地区から保育園をなくす考えはない。保護者・教職員・町民と懇談を重ね、今年度末までに基本方針を出す。

服部 研究部会のなかで、「民間事業者参入の検討」があるが、誘致する考えか。

町長 民間業者は国の補助が付くので一考の余地はある。民間業者誘致は一つの意見で、可能性を探る。

町の判断で「ごみ集積所」の設置を！

服部 会染地区はごみ集積所まで距離があり、高齢化でごみ出しが負担となっている。住宅が増え、自治会要望を待つのではなく、町の判断で設置ができないか。

住民課長 原則として既存の集積所の利用を求めるが、居住実態の変化もあり、状況を見て個別に検討していく。